

先日女性会の総会に、坂本禮子会長さんより表題のようなタイトルで話をして下さいとお招きを頂き、一見簡単に聞こえましたが後で考えてみますと何々の難問で私の話も迂余曲折してわかりにくく、またいくつか大事なことを言い残したので、追い書きをさせていただきました。

～生い立ち～

6歳の時、父が召集令状を受けて東京品川から故郷坂田へと母と弟と帰りましたが、出征した父は病気のため帰国して、当時の風潮の中では国のためにお役に立てなかった兵士と…大変恥辱的な思いがあったのか、帰国後は酒色に溺れ、遂に母と離別をいたしました。次の年、新しい母が来て、私は小学校へ入りました。私の継母は農業、海苔養殖、漁業となれぬ稼業で6人の男の子を育てた良妻賢母であったと私は今でも思っています。

しかし、実母がいなくなった私は行き場を失ったように学校は1年生から3年生まで、今で言えば「登校拒否、非行少年」の群れを作って、山野を荒らし廻り、上級生をいじめる日が続きました。やがてそのことが父親に知れて、土蔵に何度も閉じ込められ折檻されました。

～人生の転機(終生の師と出会う)～

4年生の時、石渡式郎先生に級長に大抜擢され、5、6年生に鱸三佐雄先生と出会い、この2人の先生は有名なおっかない先生でしたけど、なぜか温かい先生でしたので、私の終生の師として人生を全く変えて夢と希望を与えてくれた先生でした。

後に私が海から陸へと転業して、学校給食品販売でして悪戦苦闘していました時、この2人の先生が「この子は私が教えた子で極めて優秀で信頼できる子だから面倒みてやって下さい」と県下を一緒に歩いてくれました。その時教えられたことは「望や願いを持つものは足を運びなさい。その努力がなければ人の心は動かせない」と私の終生の座右の銘となる教えでした。今日私の会社が、ここまで来られたのはこの2人の先生との出会いがあったからであります。

この時以来、私は出会う人を人脈として大切に育てて参りました。商いの財産とはすばらしい人脈を持つことであります。

我が家の商売は、次の時代を託す子供達へ、給食材料を届ける奉仕的な商売でありますから息子達がもうからないと嘆きますが、私は美田を残せませんでした。後継者に息子と孫3人は何より優る宝物を作った思いです。

「豊かさより貧しき中に人材は生まれる」と言われます。

これから少しの間不況が続くそうです。

家族が信じ合って力を合わせて生きることです。

それが大企業に優る商売を支える力であります。

女性会の皆様に一言申し上げたい事は、不況、不運に遭遇した時、男は妻に何を求めるかであります。私の妻も良妻賢母でありましたが、私の思いは常に私は妻に良妻賢母であるよりも、母の姿を求めていました。

苦しい事も、悩むことも、素直に話せる母親を求め「あなたなら大丈夫よ。

心配しないで、私がついていてあげるから…」と言う母の姿を妻に求めていました。

この様な私と同じ男たちが多くに気づいていただき、この困難な時代を支えてやって頂きたい。

100年に一度の恐慌なら、100年に一度の絶好のチャンスだと発想を変えて下さい。

何百年商売の歴史の中で戦争、不況の中でいつもその時代が通り過ぎた後には、今までよりもっと大きな経済が起こり、発展、繁栄してきたからであります。

私は今度の恐慌はもう底をついたと思っています。6、7月で大方の不良在庫の処分も終わり、初秋には明るさが見えてくると思います。

ゴールデンウィークに房総を訪れた大群衆、この秋は春よりも長期間にわたり君津を訪れる人は多いと予想されて居ります。

幾度も申し上げましたが、君津安房への観光出入り人口はおよそ25百万人、今年は30～40%アクアライン効果があると言われますから凡そ3千万人をはるかに越えるはずです。

観光客のGDPはおよそ1人1万円です。

3千億円以上の需要が南房総に生まれますので受け皿を作って下さい。

傍観者とならぬよう、会議所を活用して下さい。

